



二輪草センター助教 菅野恭子

# 二輪草だより

平成29年10月号  
発行:二輪草センター

## センターの活動予定

- ◆11月6日(月) 医学生・研修医・女性医師の集い開催
- ◆11月下旬 二輪草だより11月号発行



## 医学生・研修医・女性医師の集い開催のお知らせ

### 『研修医生活ってどんなもの?』

聴きたい!

日時:平成29年11月6日(月)18:30~20:00

場所:臨床講義棟 臨床第3講義室

対象:医学生・研修医・医師

参加無料!

男子学生も是非ご参加ください



軽食あります  
サンドイッチとお茶をどうぞ



託児あります  
二輪草センターへお申込ください  
11/1締切

## < 講演 >

### 女性研修者の妊娠・出産・育児の実際

旭川医科大学

総合診療部

桑井 志麻先生

### 妊娠・出産・育児の実際

旭川医科大学

皮膚科

齋藤 奈央先生

### 女性として、医師として幸せに生きるには?

旭川医療センター 初期研修医

竜川 美里先生

### これからの選択を考える

—先輩医師の経験を元に—

旭川赤十字病院 初期研修医

松田 亜衣先生

### まだまだこれから女医ライフ

市立旭川病院

初期研修医

栗山 知穂先生

※参加ご希望の方は、二輪草センターへご連絡ください

平成29年8月31日に第28回二輪草セミナーを開催しました。今回はライフネット生命保険株式会社創業者の出口治明氏をお招きし「これからの働き方を考えよう」のタイトルでご講演頂きました。はじめに、物事はタテ・ヨコで考えること、数字・ファクト・ロジックのみで考えることが重要であることをお話しされました。日本の国際競争力は1991年に2位であったのが2016年には26位となっています。GDPは人口×生産性で決まるので少子高齢化の日本は生産性を上げなければいけません。生産性をあげるためには従来の工場モデルからサービス業の働き方にシフトする必要があります。人の集中力はせいぜい2時間程度といわれていますので長時間労働では良いアイデアは生まれにくいこと、職場の上司が時間をかければ良いものができるという無限大の幻想にとらわれている点も指摘していました。また少子化対策としてシラク3原則を例に挙げ、女性が産みたい時に産むことができ、待機児童をゼロにし、育児休暇から職場復帰する際、ずっと勤務していたものとみなして受け入れる事で出生率が上がったとのこと。この3原則は働く女性が子供を産みやすくする政策であると思いました。仕事は人間の人生においてたいしたウエイトをもっていないと割り切って仕事をした方が良い仕事ができるとのこと。最後に皆それぞれのライフワークバランスを自分で決めて考える事の大切さを説かれました。質疑応答では会議を減らすには会議室を減らし、ペーパーレスにし資料の説明をカットして事前に資料を回しておく様にする方法を提案して頂きました。また、人が一人減ったら仕事を残りの職員で分配するのではなく仕事を見直し整理するチャンスであること、幹部を集めてどうやって仕事を減らすかをディスカッションすると良いとのこと。クォーター制については幹部にある一定の女性を割り当てることでロールモデルができ、仕事を与えられた女性が成長するとも言及されていました。出口氏のお話を通して働き方の見直しの重要性を認識できました。今回の講演には多くの医師、看護師、大学職員、学生がご参加くださいました。医療界では理由なしに診療を断れない『応召義務』や医師の偏在が長時間労働の



出口 治明氏

要因と指摘されており、働き方革命は遅れていますが、女性医師の増加、医師の過労死の面からも早急におこなわれなければいけない課題です。これからも当センターではジャンルにこだわらず、興味深い講演を企画していきたいと考えておりますので多くの方にご参加頂けますと嬉しく思います。



要因と指摘されており、働き方革命は遅れていますが、女性医師の増加、医師の過労死の面からも早急におこなわれなければいけない課題です。これからも当センターではジャンルにこだわらず、興味深い講演を企画していきたいと考えておりますので多くの方にご参加頂けますと嬉しく思います。

## 病児一時預かり室、バックアップナース、病児・病後児保育室、カウンセリング相談 【9月20日~10月19日までの利用状況】

病児一時預かり室	依頼回数	0回	利用回数	0回
バックアップナース	依頼回数	10回	稼働回数	10回
病児・病後児保育室	依頼回数	16回	利用回数	13回
カウンセリング相談			利用回数	4回

\* 病児一時預り室、病児・病後児保育室は全職員・学生がご利用になれます

【お問い合わせ先】 旭川医科大学 二輪草センター(復職・子育て・介護支援センター)

〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1

TEL 0166-69-3240(内線3240) サンニンヨレ FAX 0166-69-3249

開設時間8時30分~17時15分 E-mail: [nirinsou@asahikawa-med.ac.jp](mailto:nirinsou@asahikawa-med.ac.jp)

ホームページ <http://www.asahikawa-med.ac.jp/hospital/nirinsou/>

